

平成30年度 学校法人 今川学園 事業報告書

1、法人の概要

①名称：学校法人 今川学園 【昭和45年11月26日設立】

②住所：大阪府松原市天美北3-10-18
電話番号 072-337-1580
ファックス 07-336-3843
ホームページ <http://www.KONOMI-k.ed.jp>

③設置する学校：木の実幼稚園
定員480名
実員366名 (平成29年度 368名)

④理事長氏名：今川公平
*理事7名 評議員15名 監事2名 定例理事会年2回開催

⑤教職員の状況

木の実幼稚園：教員32名(非常勤2名) 職員1名 派遣職員5名
給食調理担当4名

平成30年度新規採用者3名
平成29年度 退職者0名

2、平成30年度 木の実幼稚園の概要

①定員、学年、実員内訳、学級数

定員480名	平成30年	幼稚園児実員366名	
	3歳児	6クラス	118名 前年度126名
	4歳児	5クラス	132名 前年度119名
	5歳児	5クラス	118名 前年度123名
	未就園児クラス		40名 前年度 40名
	総合計		406名 前年度408名

②教育目標及び方針

【教育目標】

a, 生活指導上の基本目標

- ・あいさつが出来る。 ・感謝の気持ちが持てる。
- ・けじめがつけられる。 ・自分のことは自分で出来る。
- ・友達のことも思いやる事が出来る。

b, 表現活動を通して、豊かな「感性」と「心」を育てる。

～造形、音楽、言葉による表現活動を通して、感じたことを素直に表現し、
喜ぶ心を育てる。

- c, 自分で考え、行動できる子供に育てる。
～いろいろな事柄、現象に興味を持ち、「何故」「どうして」「どうなるだろう」と考えられる力を育てる。
- d, 友達と積極的に遊び、いろいろな遊びの工夫出来る子に育てる。
- e, いろいろな遊びを通して、健康な心身を育てる。

【保育方針】

- a, 日々の「遊び」を子ども自らが見つけ、広げ、熱中できるような、「確かな援助」と「環境作り」を保育の基本とする。
- b, 「子ども一人一人の心情と思いを大切に」し、共に喜び、感じ合える人間関係をみんなで作り上げていく。
- c, 子どもそれぞれの表現を知り、価値を認め、子どもの表現を保育の中に生かす。
- d, 日々の遊びの中で確かな「自由感～ああもしてみよう、こうもしてみよう」「達成感～こんなことできたよ」が身につくよう、常に子ども一人一人をしっかりと見守る。
- e, 様々な「もの」や「自然」と出会い、感じ、確かめ、遊びに取り込める環境作りを行う。
- f, コーナー活動と全体活動それぞれの良さを生かし、互いに深くかかわる保育を作りあげて行く。
- g, 保育者が活動を一方的に与えるのではなく、子どもと共に活動を見つけ、子どもと共に「生活を作り上げて行く」。

③保育時間

- 月曜日～金曜日 Aグループ 9:10～13:40
Bグループ 10:10～14:40
- 土曜日 月1～2回の親子の集い

④保育料及び諸経費

- 保育料: 全学年27,400円/月 (給食費4,400円を含む)
- バス協力費: 4,120円/月

⑤入園時の費用

- 入園料: 1,2年保育～40,000円 3年保育～50,000円
- 設備協力費: 20,000円

⑥預かり保育

- 月～金曜日: 13:40～17:00
- 早朝預かり保育を午前8時から保育始業まで実施

○夏休み及び冬休み中の預かり保育を年間20日間実施

⑦行事の実施状況

- 4月／入園式、始業式
- 5月／創立記念日、身体計測、個人懇談会、春の遠足、防犯訓練
- 6月／プール開き、参観日、耳鼻検診、視力検査、内科検診
- 7月／七夕祭り、終業式、夏季保育、夏季特別預かり保育
- 8月／夏休み、地蔵祭り、夏季保育、宿泊保育
- 9月／始業式、参観日、火災避難訓練、移動動物園3回、入園説明会
- 10月／運動会、参観日
- 11月／秋の遠足
- 12月／音楽発表会、個人懇談会、クリスマス会、終業式
- 1月／始業式、防災訓練、参観日、身体計測、歯科検診
- 2月／節分、造形展、入園説明会
- 3月／雛祭り、お別れ遠足、卒園式、参観日、終業式

⑧実施した主な事業の概要

- ・教職員の待遇改善の為、教職調整手当・残業手当の見直しを実施し、残業時間の実態に即した手当を全額支給する制度に切り替えた。
また、残業の自己申告の完全実施により、残業時間の自己調整を進め、労働時間の一定の短縮を達成した。
- ・保育室・廊下等の清掃を一部外部委託し、また大型印刷機の導入により、事務効率のアップを実現した。
- ・職員室・アトリエ前の中央運動場を全面人工芝化した。
- ・安全性と利便性向上の為、幼稚園正門の出入り口にカラーコードによる自動開閉装置を導入した。
- ・預かり保育に早朝預かり保育を導入し、申し込みにネットによる新システムを構築した。
- ・特別支援担当教員に、経験豊富なベテラン正職員＋パート教員2名の体制を整えた。

3、財務の概要

☆園児数は前年度ほぼ同数であるが、30年度は調整手当・残業手当が大幅に増加し、前年度より人件費が増加し、また9月の台風24号の被害の復旧により工事費が大幅に増加したことも重なって基本金組み入れ額も増加し、30年度決算では過去初めて赤字を記録した。

早急に収支改善の対策が必要であるが、教職員の人件費は圧縮せず、保育料をベースとした収入のアップをまずは図る必要がある。保育料の無償化の実施を目前にして、保護者には丁寧な説明を行い、上乗せ徴収の理解をしっかりと得る必要がある。